



●●●● 要求に当たっての基本的な考え方 ●●●●

「元気発進！北九州」プランや市長公約、並びに各分野別計画の着実な実施に向け、保健福祉局においては、平成23年度の局の目指すべき方針を「市民の誰もが、住み慣れた地域で、健やかに安心して暮らせるよう、保健福祉施策を推進する」とし、この方針の実現に向け、特に次の『最重点事項』『重点事項』『継続的に取り組む事項』に重きを置いて取り組みます。

最 重 点 事 項

健康の維持・向上の推進

生活の原点である健康を維持・向上するため、がん検診、特定健診などの受診率の向上、生活習慣病対策、介護予防などを進めます

重 点 事 項

1 地域福祉のネットワークの推進

平成22年度に策定した地域福祉計画「北九州市の地域福祉 2011～2020」に基づき、地域福祉のネットワークの充実・強化に努めます

2 高齢者施策の推進

高齢者が生きがいを持ち、生涯現役でいきいきと活躍できる環境づくりを進めるとともに、地域生活に必要な保健・医療・福祉サービスを提供します

3 障害のある人の支援の推進

障害のある人に対する理解を深め、生涯を通じた支援体制を構築するとともに、地域における自立した生活のための支援体制を充実し、環境を整備します

継続的に取り組む事項

1. 救急医療体制の維持・確保
 2. 感染症対策
 3. 人権文化のまちづくりの推進
- など

●●●● 重点的に取組みを行うもの ●●●●

【※ ◎は新規事業、○は拡充事業】

1 健康の維持・向上の推進

◎元気にエンジョイ！健康生活プロジェクト	6 百万円 [健康推進課]
◎働く世代への大腸がん検診推進事業	97 百万円 [健康推進課]
◎公園で健康づくりモデル事業（介護特会）	6 百万円 [健康推進課]
◎テレフォンセンター利用促進事業	7 百万円 [地域医療課]
◎自殺防止啓発・電話相談員育成支援事業	3 百万円 [総務課]
○自殺対策の推進事業	20 百万円 [精神保健福祉センター]
○国民健康保険特定健診・特定保健指導（国保特会）	806 百万円 [健康推進課]
健康マイレージ事業	40 百万円 [健康推進課]

2 地域福祉のネットワークの推進

○自立支援事業	122 百万円 [保護課]
○医療扶助・介護扶助適正化事業	125 百万円 [保護課]
北九州市地域福祉計画の推進	8 百万円 [総務課]
いのちをつなぐネットワーク事業	16 百万円 [いのちをつなぐネットワーク推進課]

3 高齢者施策の推進

◎（仮称）第三次北九州市高齢者支援計画の策定	6 百万円 [総務課]
◎年長者いこいの家熱中症対策事業	8 百万円 [高齢者支援課]
○高齢者のための筋力向上トレーニング啓発事業（介護特会）	31 百万円 [健康推進課]
民間老人福祉施設整備補助事業	514 百万円 [介護保険課]

4 障害のある人の支援の推進

◎（次期）北九州市障害者支援計画策定事業	10 百万円 [障害福祉課]
◎夜間・休日精神医療相談事業	9 百万円 [障害福祉課]
○障害者就労支援事業	30 百万円 [障害福祉課]
○ひきこもり地域支援センター事業	11 百万円 [障害福祉課]
障害者スポーツセンター整備事業	490 百万円 [障害福祉課]

●●● 主な新規事業 ●●●

公園内において健康遊具等を活用した 健康づくり教室をモデル的に実施します

～ 新規・公園で健康づくりモデル事業～

保健福祉局と建設局が連携しながら、保健福祉局はソフト面（公園の健康遊具等を活用した健康づくり教室の開催）を、建設局はハード面（公園の健康遊具等の配置を含めた環境づくり）を担当し、新たな健康づくり拠点として、公園の活用を進めていきます



イメージ図

生活習慣病予防に努めます

～ 元気にエンジョイ！健康生活プロジェクト～

食を通して生活習慣病の理解を深め、毎日の適正な生活習慣の実践を目指し、美味しい減塩法、適切な食事量とバランス食、よく噛むことによる肥満予防等を学ぶ体験型の教室を開催します。また、歯周病と生活習慣病の関係等についての普及啓発を図るための講演や口腔ケア指導を行います



△食事バランスガイド

障害者スポーツセンター を再整備します

～ 障害者スポーツセンター
整備事業～

旧民間スポーツ施設を活用し、バリアフリー化改修工事等を行うことにより新たな障害者スポーツセンターを整備します



イメージ図

●●● 主な見直し項目 ●●●

- 所管の施設について運営体制等を一部見直します。
- 行政評価により事業内容を一部見直します。

●●● 特別会計 ●●●

保健福祉局では4つの特別会計を有していますが、そのうち主な3つを紹介します。

◆ 国民健康保険特別会計（予算要求額 117,805 百万円）

被用者保険等に参加しない市民の方全員が被保険者となる医療保険制度で、診療や出産に係る保険給付や、特定健診・特定保健指導等、被保険者の健康保持のため諸施策を行います。

◆ 介護保険特別会計（予算要求額 76,296 百万円）

介護サービスの適正な保険給付を行うとともに、サービス事業者への研修など、サービスの質の向上に向けた取り組みを行います。また、引き続き介護予防事業の実施や高齢者の総合相談窓口である「地域包括支援センター」を運営します。

◆ 後期高齢者医療特別会計（予算要求額 13,622 百万円）

主に75歳以上の方が被保険者となる医療保険制度で、運営主体である「福岡県後期高齢者医療広域連合」が、被保険者の資格認定や医療等の給付、保険料の決定などの業務を行い、北九州市は、市民からの各種申請や届出の受付、保険料の徴収など市民に身近な業務を行います。